

祝祭日には国旗を掲揚しましょう

敬神尊皇 黎



明報感謝

監修/日刊ひぐらし 〒151-0071東京都渋谷区本町1-30-18-107 http://www.higurashi.net/ 第0093号  
護國青年會議機関紙 http://www.gokoku.net/ 発行人/山本修三 編集人/戸出蒼流 平成24年7月15日

# 芸人の生活保護問題と孝養の精神

ていたことが明るみになった



生活保護を受給し



十分な収入があるにも拘らず、親の

タダでもらえるならもろとけ  
人気お笑い芸人、次長課長の河本準一（左写真）とキングコングの梶原雄太（左上写真）が



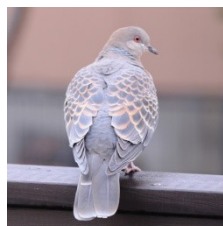
なったお笑い芸人の親の生活保護問題を思う時、日本の行く末に一抹の不安を感じる。

編集人・戸出蒼流

ことがあある。二人は釈明会見で「法的には問題なかった」と繰り返した。会見後、厚労省や自治体の担当部署には「あれがOKなら、オレもナマポ（生保＝生活保護）を貰う資格があるやろ」とか「家の名義を親から自分に変えた。親は資産も収入もないから、生活保護を受ける権利がある」といった相談が激増した。

大阪市の区役所の生活保護窓口は、相談者や対応する職員でゴった返している。職員は「やはりマスコミ、特にテレビの影響は大きい。『ちゃんと調査して出しているのか』という苦情はもろんです。『ぼくも窓口申請に行きます』という意見や相談が殺到するようになってしまいました。騒動直後は、こうした対応に追われ仕事になりませんでした」とこぼしている。河本や梶原が「法的には問題なかった」と繰り返したからか「もらえるものならもらっとけ」というモラルハザードが助長されてしまったようである。因みに東大阪市では、平均年収700万以上の職員、約30人の親族が生活保護を受給しているそうだ。

国会では野党議員が生活保護を管轄する厚労省の対応を痛烈に批判、厚労省は厳しくチェックしていく方針を示したが、不公平感の解消にはほど遠いのが現状だ。とテレビや新聞は報じている。



子供を生み子孫を育て、種を存続することは、生物の最大のテーマである。例えばキジバト（左写真）は、ヒナを守るためには、大きな外敵に対して夫婦で体当りをして、命懸けで敵に対峙するとい

人間と動物との根本的な相違は、子供が親の愛情に感謝して、これに報いようとする処にある。特に、親が年を取っ

国粋大衆党初代総裁、衆議院議員、日本船舶振興会会長などを歴任した政治運動家の故笹川良一氏（上写真）が59歳のとき、82歳の母親を背負って、香川県仲多度郡琴平町の金毘羅参りのため785段の石段を登っている様子を現した『孝子の像・左上写真』が東京港区の笹川記念館や日本各地の競艇場などに存在する。像には「母背負い 宮のきざはしかぞえても かぞえつくせぬ 母の恩愛」と母への賛歌が刻まれている。洋の古今東西を問わず、親子の情は、海よりも深く、山よりも高いものだった。特に日本には、親に孝行を尽くす『孝養』という言葉があるように、一人前となった子が親を扶養するのは当然のこととして受け止められてきた。ところが最近話題に

だるうか。筆者は、不公平感の解消云々よりも、子が年老了いた親の面倒をみない、みたら荒廃と、日本の将来に危うさを感じる。

て体力が弱っても、子供が親を大切に世話をしてくれる。この点が、人間と動物を分ける根本的な違いである。

### 親への孝は普通の原理

こうした親子間の愛情を孝という。つまり、親から子へ、子から親への血族愛が、孝である。孝は後に、子から親への愛情を意味する言葉として使われるようになった。これを一般的な孝と区別して、親孝行、孝養と呼ぶ。小紙冒頭の画像は、還暦間近の子が年老いた母を背負い、金刀比羅宮の石段を登る姿を現したものだ。この像に象徴されるように孝という文字は、子供が老人を背負った姿を象つたものといわれている。

親に対する孝は、人間の人間たる道徳の基本と考えられ、我が国では往古の昔より実践されてきた。親孝行のできない人間は、まともな人間ではないと見做され、自分を生み、育んでくれた親に感謝し、親を敬い大切にすることは、人間らしさの中核とされるくらい、非常に重要なことなのである。

孔子は「孝は徳の始め」と説き、孟子は「親孝行は、万行の基」と、説いている。我が国でもGHQが軍国主義教育として排斥するまでは筆頭教科であった『修身』で、孝の大切さを説いていた。孔子や孟子が説いたことや、修身の教えは、時代が変っても普通の原理である。

子を思う親の愛は計り知れないものがある。井伊直弼による安政の大獄で囚われの身であった幕末の志士・吉田松陰（左写真）は、獄中で自らの死期を予



期し、母親に宛てた手紙の中で『親思う 心に優る親心 今日のおとづれ 何と聞くらん』という有名な歌を詠んでいる。蛇足ながら、この歌の意味は『私は、親のことを思い、心配しているが、その私が親を思う心よりも、親は遥かに私のことを思い、気にかけてくれている。その親は、今日私が処刑されたという知らせをどんな思いで聞くのだろうか』ということである。

私事で恐縮だが、明治生まれの亡父が、よくこの歌を口にしていたのを思い出す。自分なりにこの歌の意味が理解できて、少しでも恩返ししようかと、思った時には、親はもうこの世の人ではなかった。筆者が37歳の秋だった。まさに『親孝行した時には 親は無し』だった。

### 閑話休題

また松陰は、支那の古書「孝

経」を繙き「身体髪膚はこれら父母に受く。これを被傷せざるは孝の初めなり」と論している。つまり、自分の身体は、親から受け継いだ生命である。身体を大切に、健康を損なわないうよう、また身体を傷つけないようにすることが、親孝行の第一歩であると、教えている。

### 親子一体が日本人の本来の姿

日本の親は、子を愛情を持って育てるように努めてきた。親は子供に乳をやり、食べ物を食べさせる。それが親の一番の務めだと考えてきた。親は、子供が満足そうにしている姿を見て満足に思う。子供はそうしてくれた親に感謝し、親が年を取ってもどこまでも大切にされる。このような親子一体が日本人の本来の生き方であり、連綿と受け継がれてきた伝統である。

### 親孝行の大きな意義とは…

本来の日本人の生き方では、親への感謝は、親の親である祖先への感謝につながるものであり、その感謝の念は、国を作り、国を築いてきてくれた先達にも及ぶものである。こういう考え方から歴史や伝統に対する尊重の念が湧き、それが国民の社会意識、歴史意識、国家意識の基となり、国民の間に連帯感、共有意識を培ってきたのである。逆に親への感謝の心が希薄に

なると、祖先に対してもその心が薄くなり、自己中心・個人主義・利己主義の人間が世に溢れることとなる。親への感謝は、個人の人間形成の核であると同時に、社会・国家の発展の基礎ともなる。そこに、親への孝の大きな意義がある。

お笑い芸人の親族の生活保護問題を持ち出すまでもなく、今の日本の現状は、親に孝養を尽くさず、祖先を崇めず、子孫の繁栄すら願わない餓鬼の世界の様相を呈して、大東亜戦争前の日本とはまるで別の国であるかのように思えてならない。

### 日本再生への手段

政治や経済をどう改革しようかと、そしてそれが仮に改善に繋がったとしても、ただかか生活

### 人間はこんなにも残酷になれるのか 大津市いじめ自殺事件

昨年10月、滋賀県大津市立皇子山中学校2年の男子生徒が飛び降り自殺した。今月になって、自殺した男子生徒に対して行われていた陰惨ないじめの内容が明らかになった。

各メディアやネット掲示板などによると、男子生徒は、①運動着に小便をかけ体育の時間に臭いと言われる。②給食の配膳の際、中に痰、唾、ゴミなどを入れられる。③辛子やタバコなどの刺激物を陰茎に塗られ痛がる姿を笑われる。④蜂や雀の死骸を食べさせられる。⑤高所やロープで自殺の練習をさせられるなど、およ人間の行いとは思えないような残酷ないじめをされていたという。どうすれば人間がこれほど残酷になれるのか筆者には到底理解できない。関係者は「いじめと自殺の因果関係は判断できない」と一貫して主張しているが、繰り返し行われた加害者の暴力と暴力行為を見逃した学校側、さらに、いじめの実態が明らかになっても、いじめが自殺の原因だったと認めない教育委員会に激しい憤りを覚える。